

活動報告（坂本 麻衣子）

研究業績

【学術論文】

1. **Sakamoto Pomeroy, M.**, Okamura, Y. & Thaler, N.S. (2023). History and State of Neuropsychology in Japan: A modest proposal from a clinical psychological perspective. Medical Research Archives, 11(1), 1-17. (DOI: [10.18103/mra.v11i1.3485](https://doi.org/10.18103/mra.v11i1.3485)).
2. Nagae, M., Mitsutake, T. & **Sakamoto, M.** (2023). Impact of skin care on body image of aging people: A quasi-randomized pilot trial. Heliyon, 9(2), 1-10. (DOI: [10.1016/j.heliyon.2023.e13230](https://doi.org/10.1016/j.heliyon.2023.e13230)).
3. **Sakamoto Pomeroy, M.** & Aoki, Y. (2022). How to improve real-world speaking ability within conference and clinical settings. J. Med. Eng. Educ., 21(3), 144-146.
4. Ando, T, Yamaguchi T, Giovannetti T, **Sakamoto M.** (2022). A recognition model of motion primitives in VR-IADL based on the characteristics of MCI patients and elderly adults. (2022). International Conference on Human-Computer Interaction, 3-12.
5. Mitsutake, T., Taniguchi, T., Nakazono, H., Yoshizuka, H., & **Sakamoto M.** (2022). Effects of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation on the Muscle Activity and Joint Movements in Different Standing Postures Conditions. Front Hum Neurosci. 2(16): 891669. (DOI: [10.3389/fnhum.2022.891669](https://doi.org/10.3389/fnhum.2022.891669). PMID: 35721349; PMCID: PMC9202802)

【学会発表・招待講演】

1. 柏崎嵩斗, 山口武彦, 松下修三, 山之内純, 中田浩智, 南留美, 坂本麻衣子. HAND スクリーニング指標としての micro-errors の有用性. 第 32 回ライフサポート学会フロンティア講演会 2023, 3, 13-14.
2. **Sakamoto Pomeroy, M.**, Kashiwazaki, T., Tsurumi, J., Giovannetti, T. & Yamaguchi, T. A potential behavioral sign for detection of mild HIV-related neurocognitive impairment. Presented at International Neuropsychological Society, 2023, 2, 1-4 (San Diego, USA).
3. 武富由美子, 田淵康子, 熊谷有記, 坂本麻衣子, 鐘ヶ江寿美子, 矢ヶ部伸也. がん患者遺族の心的外傷後成長と関連要因に関する縦断研究. 第46回日本死の臨床研究会年次大会 2022, 11, 26-27.
4. 坂本 麻衣子, 中尾 綾, 小山 璃久, 鶴味 詢大, 山之内 純, 中田 浩智, 松下 修三, 南 留美, 山口 武彦. タブレット版 HAND スクリーニング検査の妥当性と有用性. 第 36 回日本エイズ学会, 2022, 11, 18-20.
5. 坂本 麻衣子, 福森 則男, 植田 美穂, 木本 晶子, 山崎 加奈枝, 堀 恵子, 小田 康友. 医学科生の自己主導型学習能力と学修成果の関連性. 第 54 回日本医学教育学会大会, 2022, 8, 5-6.
6. 福森 則男, 坂本 麻衣子, 植田 美穂, 木本 晶子, 堀 恵子, 山崎 加奈枝, 小田 康友. 第 54 回日本医学教育学会大会, 2022, 8, 5-6.
7. **Sakamoto Pomeroy M** & Aoki Y. How to improve real-world speaking ability within conference and clinical settings. 第 24 回日本医学英語教育学会学術集会, 2022, 7, 16-17.

【共同研究】

1. 諏訪東京理科大学, University of California San Diego, Temple University (アメリカ合衆国), University of Angers (フランス), University of Montreal (カナダ) との共同研究を通じて、テクノロジー (VR やタッチパネル) を用いた認知機能障害早期発見の為にスクリーニングツールを開発している。
2. 福岡国際医療福祉大学と、脳卒中患者の歩行能力に対する電気刺激療法の効果や経頭蓋直流電気刺激時の脳活動の研究を行っている。
3. 九州大学とともに、入所施設の高齢者対象に、化粧品を使った自立的なスキンケア習慣が与える認知機能と情緒への効果について検証を行っている。
4. 癌患者遺族の心的外傷後成長 : Post-traumatic Growth (PTG) の関連要因 (在宅ケア vs. 一般病院での看取りなど) について、同学部看護学科の教員と評価を行っている。
5. IT インペル社と同学部看護学科の教員と共に、認知機能低下のある入院患者転倒防止の為に機器「見守り安心くん」の開発を行なっている。

資金

【外部】

1. 科学研究費基盤 C (研究代表者) : HIV 関連神経認知障害 (HAND) 診断ツールの標準値構築と動作エラーモデルの開発 2730 千円
2. 科学研究費基盤 B (分担研究者) ノイズ前庭電気刺激の姿勢安定性に関する多角的な研究 65 千円
3. 科学研究費基盤 C (分担研究者) : ピアサポーター参加型のがん相談支援ネットワークモデルの開発 (1 年延長) 0 千円

活動内容

◆教育活動

授 業 科 目	対 象 学 年
医療入門Ⅰ (教科主任)	医1
生命倫理学 (教科主任)	医 1
行動科学原論 (教科主任)	医 1
医療入門Ⅱ	医2
臨床入門	医4
生命科学・医療倫理 (教科主任)	大学院生
生命倫理学概論 (教科主任)	大学院生
対人支援技術特論Ⅱ (教科主任)	大学院生
看護倫理	大学院生
アカデミック・ライティング (教科主任)	大学院生
神経心理学概論 (研究室配属)	医2, 3
研究倫理学 (研究室配属)	医2, 3

PBLチューター : PBLユニット12 (社会医学・医療社会法制)

チューター : 1・2年生担当

◆診療活動

脳神経内科・物忘れ外来での認知機能検査
神経内科緩和ケアのコンサルテーション
HIV/AIDS 患者の HAND 診断
HIV/AIDS 患者のカウンセリング

◆組織運営活動

カリキュラム委員
国際交流部員
臨床倫理委員会委員
臨床倫理コンサルテーションチームメンバー
分野別評価委員会幹事
教学マネジメント推進室員／質保証部門委員／ティーチングポートフォリオメンター

◆その他

国際神経心理学会 (International Neuropsychological Society: INS) Mid-Year 台湾大会 大会長
国際神経心理学会 (International Neuropsychological Society: INS) プログラム委員
アジア神経心理学会 (Asian Neuropsychological Association: ANA) 広報委員